

一般社団法人 性と健康を考える女性性専門家の会 20周年および法人化記念シンポジウム in 北海道 「ピルの認可から女性の自己決定を支える医療へ」

2017年11月7日、当会は20周年を迎えました。これもひとえに、皆様のお力添えの賜物であり、心より感謝申し上げます。本年4月7日には法人化を果たし、社会に対し一層の貢献をしていく所存です。低用量ピルの認可に始まり、様々なプロジェクトでその時々課題に立ち向かい、女性医療の波に翻弄されながらも「性と健康」の本筋から逸れずに活動を続けています。今回は札幌で早乙女会長と林理事を迎え有意義な時間を過ごして頂けると思います。皆様のご参加をお待ちしております。

<メディカル・ギャップの概要>

この言葉は、「医療現場にて生じる様々な温度差」という意味の、本会で生まれた造語です。主に医療従事者と患者との間に生じる意識のずれ(例:治療方針)があり、医療従事者が起因となるドクターハラスメントやメディカルハラスメントの一部、反対に医療の受け手である患者が起因となるモンスターペイシェントが挙げられます。その他には、法律や制度等の社会的要因が起因となる救急搬送や院内での移動によるたらい回しや医療難民、ドラッグ・ラグやデバイス・ラグ(欧米等ではすでに使用されている薬剤・器具・技術が日本では承認が遅れ使えないという時間のずれ)等が挙げられます。

記

日時 2017年12月2日(土) 午後5時開場 午後7時終了予定

場所 札幌市立大学 桑園キャンパス

〒060-0011 札幌市中央区北11条西13丁目

座長 堀本 江美 ゆいネット北海道 理事長

講師 早乙女 智子 性と健康を考える女性専門家の会 会長

林 夢都美 性と健康を考える女性専門家の会 理事

演題 「メディカル・ギャップ(Medical Gaps)」を考える

主催 一般社団法人 性と健康を考える女性専門家の会 北海道支部

共催 NPOゆいネット北海道

参加費 一般参加 1,000円(事前申し込み不要、当日会場にてお支払い下さい)

なお、性暴力被害者支援看護師養成コースの方は、参加費用に含まれております。

以上

<問い合わせ先>

一般社団法人 性と健康を考える女性専門家の会 事務局

〒104-0045

東京都中央区築地2-12-10 築地MFビル26号館 5階(株式会社 朝日エル内)

メール:pwcs@ellesnet.co.jp / TEL:03-5565-3588 / FAX:03-5565-4914